

自然エネルギー上小ネット―(仮称)― 設立総会 次第

日 時 平成24年2月4日(土)
午後1:30～3:30
場 所 上田駅前ビル「パレオ」2階会議室

1. 開 会

2. 発起人代表あいさつ

3. 協議事項

経過説明

第1号議案

設立趣意書に基づく自然エネルギー上小ネット―(仮称)―設立の意思決定について

第2号議案

組織の名称および会則について

第3号議案

役員等の選任について

第4号議案

平成23年度事業計画について

第5号議案

平成23年度予算計画について

第6号議案

平成24年度事業計画について

平成24年度予算計画について

自然エネルギー信州ネットとの連携及び普及モデルの申請について

4. 閉 会

出席者による自己紹介を兼ねたワークショップ

テーマ:「自然エネルギー上小ネットに期待すること」

自然エネルギーに対する意識改革の啓発活動の企画に反映されます。

第 1 号議案

設立趣意書—(案)—

長野県の上小地域は豊かな自然に恵まれ、太陽光、小水力、バイオマスなどの潜在的ポテンシャルが大きいといわれている。3.11 東日本大震災を契機に自然エネルギーに対する関心が高まると共に、地域の課題は地域の住民が主体となって、任意団体、NPO、企業、大学、行政と連携して、地域が地域課題を解決するという従来発想と異なる「新しい公共」の考え方が提唱されてきている。

上小地域において、自然エネルギーについての学習会、自然エネルギー普及検討会、ネットワーク型協議会設立の準備会を経て、自然エネルギーについての地域の人達への啓発、意識改革が必要だと認識を深めた。また、地域の自然エネルギーの活用、普及を推進するためにはポテンシャルの把握と活用するためのビジョン作成を行い、事業化のためのプロジェクトを支援する協議会組織が必要と議論されてきた。

協議会のミッション（使命）及びビジョン（構想）を示し、ネットワーク型協議会の活動を企画計画した。

【ミッション（使命）】

- ①地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及を図る。
- ②自然エネルギーを活用した地産地消、CO2 削減の啓発活動で持続可能な地域づくりを目指す。

【ビジョン（構想）】

- ①上小地域の自然エネルギーポテンシャルの把握と活用のビジョン作成、活用事業の支援を行う。
- ②CO2 削減を目指し、自然エネルギー活用、省エネ活動について意識改革の啓発を行う。

平成 24 年 2 月 4 日

自然エネルギー上小ネット—(仮称)—設立総会

自然エネルギー上小ネットの経過（「新しい公共」を目指す）

（自然エネルギー学習会、普及検討会、設立準備会）



【ミッション】

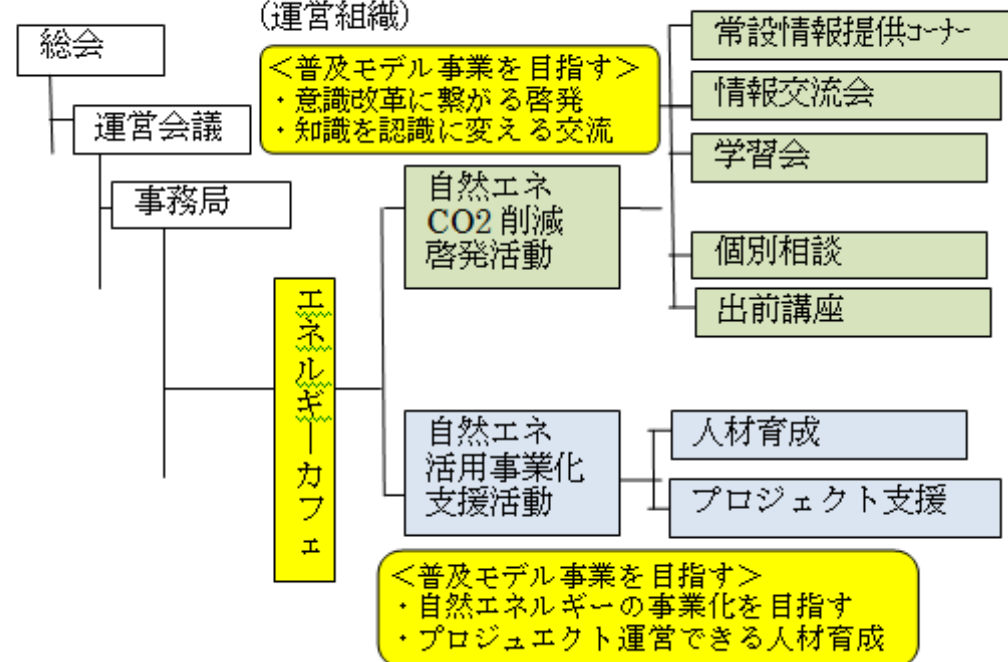
- ・地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及
- ・自然エネルギーを活用した地産地消、CO2 削減の啓発活動で持続可能な地域づくりを目指す。

【ビジョン】

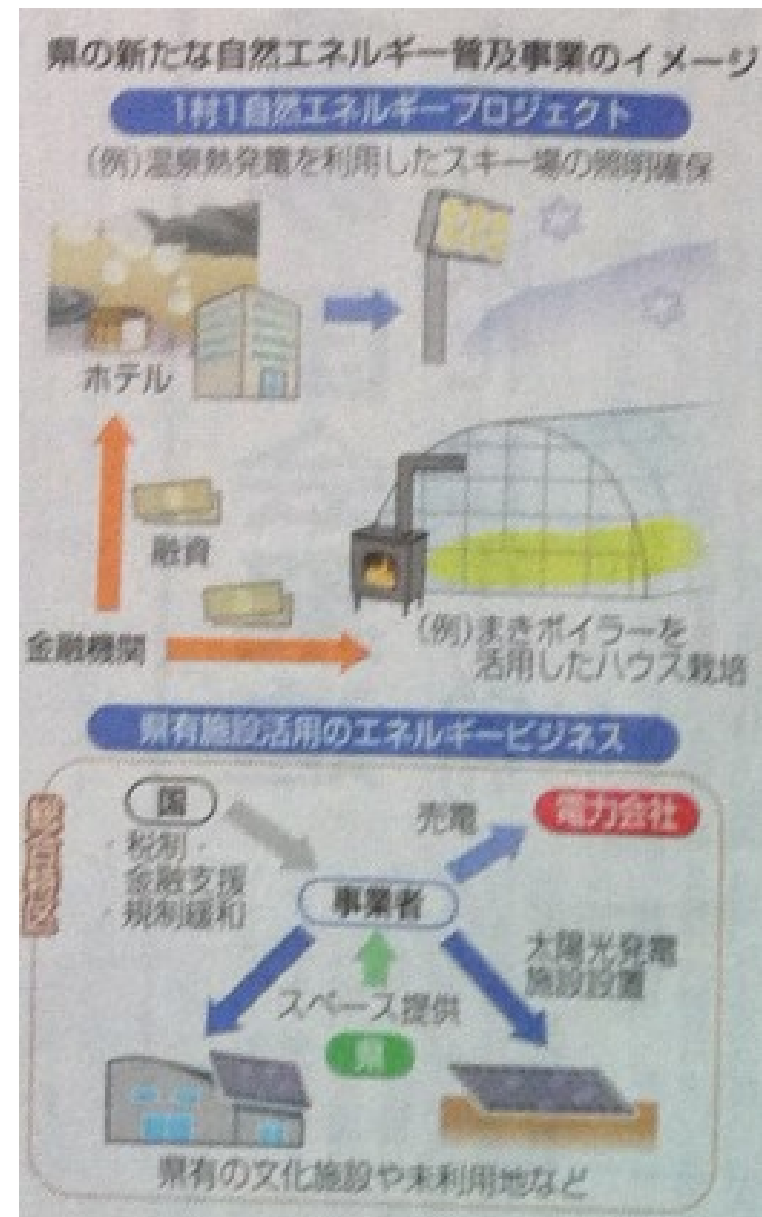
- ・上小地域の自然エネルギーポテンシャルの把握と活用のビジョン作成、活用事業の支援を行う。
- ・CO2 削減を目指し、自然エネルギー活用、省エネ活動について意識改革の啓発を行う。

自然エネルギー上小ネット

(運営組織)



自然エネルギー事業のイメージ (信濃毎日新聞の記事 1012.1.1)



自然エネルギー上小ネット
(自然エネルギー上小地域協議会)

自然エネルギー信州ネット (県レベル)
6 部会、他地域協議会

地域 個人・団体

- ・特定事業型協議会 (研究)
- ・うえだ市民エネルギーシフト
モデル事業「相乗りくん」

エネルギーカフェ (自然エネの意識改革啓発)
~地域、人と人、人と情報をつなぐ場~

上小地域協議会

(ネットワーク型)

- ・役員会
- ・総会

運営委員会

【新しい公共】

- ・イベント企画
- ・事業化支援
- ・人材育成

事務局

<モデル事業>

情報交流会

- ・情報交換
- ・発表会

場
拠点

常設
・パンプ
・加圧機
・チャージ

<モデル事業>

出前講座

- ・家庭
- ・小規模企業

学習会

- ・学習会
- ・見学会

個別相談

- ・環境経営
- ・自然エネ
- ・省エネ

<モデル事業>

人材育成 (出前講座、プロジェクト支援)

- ①プロジェクト管理・運用できる人材
- ②出前講座できる人材育成
- ③イベント企画できる人材

自然エネ普及モデル
事業を目指す

- ・プロジェクトで研究
- ・自然エネ活用支援
- ・会員の情報提供・発表

事業家プロジ
ェクトの支援

- ・人材ネットワーク
- ・情報提供
- ・設立支援
- ・運用支援

上田市

上田情報ライブラリー
・ビジネスコース

大学、県、市町村

企業

エネルギーカフェのイメージ

(自然エネルギー上小ネット運用)

共働作業

- ・大学
- ・行政
- ・企業
- ・団体
- ・個人

NPO

自然エネルギー
信州ネット
ポータルサイト

インターネット検索



情報交流会
・知識を知恵
(ワークショップ)



エネルギーカフェ
自然エネルギー・意識改革の場
(上田駅前；上田情報ライブラリー)



人材育成
・プロジェクト支援
・出前講座支援



学習会・見学会



市民サロン



部会の設立支援
(プロジェクト)

自然エネ啓発
CO2 削減

出前講座

個別相談

自然エネルギー啓発活動

- ・地域住民へ啓発
- ・自然エネ事業者、起業家へ啓発

第2号議案

自然エネルギー上小ネット―(仮称)― 会則(案)―

(名称)

第1条

本会の名称を「自然エネルギー上小ネット―(仮称)―」とする。

(事務所)

第2条

本会の事務所を、上小地域におく。

(目的と活動内容)

第3条

本会は、地域内において、地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した地産地消による持続可能な地域づくりと CO2 削減の啓発活動を目指す。下記の活動をすすめるために多様な主体の連携と交流を図りながら、総合的な調整を行なうための協議組織である。

- ①地域の自然エネルギー及び省エネに関連する団体・企業・個人らの交流促進
- ②上記の協働による県民への普及啓発活動
- ③ 自然エネルギー普及に向けた政策手法の検討・提言
- ④ 自然エネルギー普及モデル構築のための調査検討
- ⑤地域と連携したモデル事業の実施及び支援
- ⑥家庭から企業までの省エネ活動の啓発支援を行う
- ⑦モデル事業支援及び省エネ支援のための人材育成
- ⑧その他、上記の目的を達成するために必要な活動

(地域連携・支援)

第4条

本会は、地域の多様な主体の連携と交流を図りながら、地域の実践活動の情報交換、地域の自然エネルギー資源を生かした自然エネルギー普及モデル事業を検討し、事業を支援する。また、自然エネルギー信州ネットと連絡調整を図り、全県的な連携の下に活動を展開する。

(専門部会及び分野間連携・支援)

第5条

本会に部会を置き、各分野及び分野を横断した専門的な知見の交流とともに、専門的技術やノウハウをもつ集団は地域の実践活動を支援する。

(会員)

第6条

1. 本会の目的に賛同する個人、団体、企業及び行政機関等が会員になることができる。必要に応じてオブザーバー会員を設ける。会長はオブザーバーを選任することができる。会員は本会の目的が達成できるようにそれぞれの所属の領域において努力する。会員は会長に申し出ることにより任意に入退会することができる。
2. 会員募集は常時申込書にて行う。
3. 反社会的な活動を行なう団体やこれに従事する者は会員となることができない。

(役員)

第7条

1. 【会長】全体の調整、統括役として会長(1名)を運営会議の推薦により、総会の議決を経て選任する。
2. 【副会長】会長は副会長(若干名)を会員の中から選任することができる。副会長は、会長を補佐し、会長不在時に代行する。

3.【理事】会員の申し出を受け、かつ会長が推薦するものを、総会の議決を経て理事に選任する。理事は運営会議において議決権を有する。

4.【会計】会計は当会の会計経理処理業務を行う。

5.【監事】監事は、当会の事業及び経理を監査する。また、監事は、運営会議の推薦により、総会の議決を経て選任する。会長は監事が必要と判断した場合は運営会議を招集しなくてはならない。

6.【顧問】会長は、本会の運営のため専門的な助言を得る必要がある場合は、顧問(若干名)を選任することができる。

7.【任期】すべての役員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、役員に欠員が生じた場合、会長が必要と認めた場合は、運営会議の承認を経て、補充することができるが、その任期は前任者の残任期間とする。

(運営組織)

第8条

1.【総会】通常総会は年1回、会長の招集により開催する。総会は、会員(委任状出席を含む)の過半数で成立する。総会では、年次計画と予算の決定、年次報告と決算の承認、規約の改廃、役員の選任などについて、出席会員の過半数により議決する。

2.【運営会議】運営会議は理事によって構成する。会長が招集し、理事の過半数により成立する。運営会議の議事は理事の互選により選任された議長が執り行う。運営会議では、年次計画の執行、部会の設置、予算執行、会長・監事の推薦等に係る協議を行う。会員は運営会議に出席して発言できる。運営会議における意思決定は理事の過半数により行なうが、少数意見を最大限尊重し、会員の総意となるように努力しあう。

3.【事務局】本会の日常的な業務及び運営会議の議決による事項についての実施を計画し運用する。

会長は、事務局長を選任することができる。

4.【公開原則】総会及び運営会議は原則公開で行なう。また、本会の業務にかかる資料は求めがあればいつでも開示することができるようにする。

(財政)

第9条

本会の収入は、年会費(個人会員、団体会員、企業会員)、寄附、補助金、受託金、寄付金、その他の収入(参加費等)により支弁し、監事の指導のもと適正な財政運営をすすめる。

年会費は、個人会員1,000円、団体・企業会員10,000円とする。但し、オブザーバー会員は年会費を無料とする。

(事業年度)

第10条

本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとし、年度の終了後3ヶ月以内に、事業報告書と収支決算書について、監査を受けた後、総会の承認を得ることとする。

(解散)

第11条

総会の総意により本会を解散することができる。解散時に残預金がある場合は解散時の総会によって処分を決定することとする。

(付則)

第12条

運営会議は、本規約のほかに必要な事項について定めることができる。

付 則

1. 第10条の規定にかかわらず、この会則は、第1回総会の議決を経た直後より発効する。

第3号議案

自然エネルギー上小ネット(仮称)——発起人 役員名簿

No	役員	発起人	所属団体	
1	監事	荻原 静夫		
2	会計	川田 富夫	エコ屋・ごしょうらく	
3	副会長	栗田 力	太陽力株式会社	
4	理事	桜井 広司	株式会社ケー・アイ・エス	
5	監事	柴崎 茂利	うえだ環境市民会議	
6	会長	末広 繁和	ブレイクスルー研究会	
7	理事	新田 詔三		
8	理事	東方 明子		
9	理事	藤川まゆみ	うえだエネルギーシフト作戦 会議	
10	理事	町田 吉弘		
11	理事	松木 義信	グルーラムハウス(株)	
12	理事	松原 邦彦		
13	理事	青木 隆	長野県上小地方事務所環境課	
14	理事	細川裕夫	上田市役所市民生活部生活環 境課	
15	理事	坂井 美嗣	東御市市民生活部市民課	
16	理事	武重邦明	長和町役場町民福祉課	
17	理事	若林喜信	青木村役場住民福祉課	

第4号議案

平成23年度 自然エネルギー上小ネット―(仮称)― 事業計画―(案)―

自然エネルギー上小ネット―(仮称)―

世話人 末広繁和

自然エネルギー普及モデルづくりの準備

1. 「上小自然エネルギー普及検討会」

日時：平成23年12月20日（月） 13：30～14：00

場所：上田創造館 第2会議室

参加人員：17名

主催：世話人 末広繁和

進め方：ワールドカフェ

「自然エネルギーとは、我々にとってどのようなもので、
我々自身が普及活用するためにどのようなことができるのか？」

2. 「自然エネルギー上小地域協議会準備会」

日時：平成24年1月16日（月） 10：00～12：00

場所：上田駅前ビル「パレオ」2階会議室

参加人員：18名

主催：世話人 末広繁和

内容：12/20のワールドカフェを踏まえて、上小地区の自然エネルギー
活用普及モデル作りのための協議会設立の会則、事業計画の検討をした

3. 「自然エネルギー上小ネット―(仮称)―設立総会」

日時：平成24年2月4日（土） 13：30～15：30

場所：上田駅前ビル「パレオ」2階会議室

主催：世話人 末広繁和

4. 平成23年度 情報交流会

1. 目的：自然エネルギー上小地域普及モデルづくりを目指す。

「新しい公共」を目指して、知識を認識/知恵に変える情報交流会の実施

2 日時：3月10日（土）15：00～17：00

3. 場所： 上田駅前ビル「パレオ」情報ライブラリー4階セミナールーム

4. 進め方： レクチャー、事例発表後、ワールドカフェ

- ・レクチャー（30分） 「上小地域の自然エネルギーの可能性」
- ・事例1（20分）
- ・事例2（20分）
- ・ワールドカフェ（50分）

「地域で活用できるかも知れない自然エネルギーはあるか？」

参加者全員参加で考え、情報交流会の進め方を確認する

第5号議案

平成23年度 自然エネルギー上小ネット(仮称) 予算計画(案)
(平成23年12月1日～平成24年3月31日)

収入の部

単位 円

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会費 個人				個人 1,000 円 x 22 名
会費 団体				団体 10,000 円 x 5 団体
補助金	93,000			
寄付金	5,000			寄付金
雑収入				
合計	98,000 93,000			

支出の部

単位 円

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
講師謝金				人材育成専門家、事業化支援
会議資料印刷費	16,000			12/20 検討会、1/16 準備会、2/4 総会印刷代
交流会資料印刷費	5,000			交流会資料代、
会場費				情報交流会、見学会
学習会(視察)				先進地視察、学習会、施設見学費
情報展示物台	60,000			常設情報展示物台
通信費	2,000			電話、切手代
交通費				地域間の連携、調査、交通費
事業報告書編集				報告書編集、印刷費
事務消耗品費用	10,000			ワークショップ 消耗品、
事務局経費				連絡
予備費	5,000			
合計	98,000 93,000			

6号議案

平成24年度 自然エネルギー上小ネット(仮称)事業計画(案)

エネルギーカフェ (上田情報ライブラリーと連携)

	事業計画	予算
地域への自然エネルギー啓発活動・意識改革	●情報提供常設コーナー(情報スタンド) (上田市情報ライブラリー内に場所借用) ・「ここへ来れば自然エネルギーがわかる」拠点 ・自然エネルギー信州ネット情報(ポータルサイト)各地域協議会などの情報など ・上小ネットのイベント、研修情報 ・会員企業の自然エネルギー情報知識や地域情報パンフや企業のパンフなど ・信州ネットのポータルサイト検索支援	・コピー代 200枚 @10 =2,000 上田情報ライブラリースタンドの場所提供
	●(モデル事業を目指す)情報交流会 10回/年 ・ワークショップ手法を活用し住民参加の交流会進める 参加者同士自ら考え自らなにをすべきか認識する ・会員からの提案項目により内容選定(運営委員会) ・会員及び地域の人によるイベント開催 ・自然エネルギー活用術や実践の発表	・資料代 2,000 x 10 = 20,000 ・会場費 上田市から提供
	●学習会(研修会や施設見学会) 1回/年 ・地域の自然エネルギーとは何か ・自然エネルギーの可能性を知る ・自然エネルギーにどのように取組むか ・見学会と通して地域との交流	・施設見学など 30,000 x 1 = 30,000 ・参加費 1,000円 x 20名 市のバス活用できないか? 上田環境市民会議と連携できないか
	●個別無料相談 随時、申込制 ・自然エネルギー ・省エネ方法 ・自然エネルギープロジェクト	・情報ライブラリーの経営相談の中に自然エネルギー、省エネ相談を追加 ・場所 市が提供 ・相談員 無償
	●出前講座(地域の実践者による) 有料派遣講座 ・自然エネルギー活用啓発 ・家庭向け:環境家計簿と省エネ ・小規模企業向け:環境経営と省エネ	地域団体、小規模企業対象 有償で派遣する 10,000/回 2回程度
人材育成とモデル事業の研究	●(モデル事業を目指す)人材育成(地域等の専門家による) ①プロジェクト管理・運用できる人材 ・ブレイクスルー思考、ファシリテーション ・事業計画のマネジメント ②出前講座できる人材育成 ・自然エネルギー専門知識、指導 ・環境家計簿と省エネ指導 ・環境経営と省エネ指導 ③イベント企画計画できる人材	・上田情報ライブラリーのビジネスコースと連携 ・①の2日間コース ・講師謝金 20,000円 ・参加費 2,000円徴収
	●自然エネルギーモデル事業支援 ・地域の自然エネルギーポテンシャル調査 ・自然エネルギー活用の部会(事業化を目指す研究会) ・情報提供、人材紹介 ・関連地域団体との連携支援 ・プロジェクト設立、運営の支援	予算 ・会場費 上田市から提供 ・協議会のメンバーが支援 10,000円

平成24年度 自然エネルギー上小ネット(仮称) 予算計画(案)

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収入の部

単位 円

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会費 個人	20,000			個人 1,000 円 x 20 名
会費 団体	50,000			団体 10,000 円 x 5 団体
補助金				
寄付金				
研修参加費	40,000			人材育成参加費、出前講座講師派遣
雑収入	20,000			学習会参加費 1,000 円 x 20 名 x 1 回
合計	130,000			

支出の部

単位 円

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
情報交流会 10 回/年	20,000			10 回/年 資料代 2,000 円 x 10 回
学習会、視察 1 回/年	30,000			1 回/年 施設見学費 30,000 円 x 1 回 (参加費 1,000 円 x 20 名徴収)
出前講座 2 回/年 (有償派遣)	20,000			2 回/年 資料代 2,000 円 x 2 回 謝金 8,000 円 x 2 回
人材育成 1 回/年 (2 日間コース)	20,000			講師謝金 10,000 円 x 2 回 (参加費 2,000 x 10)
事業化支援 プロジェクト支援	10,000			資料コピー 10,000 円
事務消耗品 ワーク消耗品	5,000			事務消耗品 模造紙、ポストイット、マジックペン
事務費	10,000			常設情報コーナー管理 通信費、交通費、事務局経費、
総会 1 回/年 運営会議 3 回/年	5,000			資料印刷費 総会 30 名 3,000 円 運会 10 名 2,000 円
予備費	10,000			
合計	130,000			

第6号議案

普及モデル開発地域協議会 普及モデル応募シート

提出日 平成24年2月4日

項目	記入事項	備考
協議会名称	自然エネルギー上小ネット（ネットワーク型協議会）	
代表者氏名	末広繁和	
担当者氏名	末広繁和	
電話	090-1533-2072	
f a x	0268-28-4525	
メール	ssyslab@gmail.com	
携帯電話	090-1533-2072	
事業名	自然エネルギー活用事業化の支援及びCO2削減啓発の支援事業	
添付資料	普及モデル事業計画、普及モデル予算計画、運営組織体制などがわかる資料	
該当する普及モデル	✓①地域の関係者が主体的に参加、連携、協働することにより立ち上げられる自然エネルギーのビジネスモデル ✓②自然エネルギーの実施を通じ温室効果ガスの削減に加え、他の社会的課題の解決や持続可能な地域づくりに資する自然エネルギー事業 □③採算性のとれる事業であって、他地域への普及可能性のある新しい自然エネルギーのビジネスモデル ✓④地域の自然エネルギーの取り組みを支援する中間支援組織のモデル □⑤地域の自然エネルギーの取り組みを支援するファイナンスの仕組みづくり ✓⑥自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくり又はライフスタイルのモデル事業 ✓⑦自然エネルギーの普及に資する新しい文化・教育・普及啓発の事業モデル	
チェックリスト ※提出時に自己チェックしてください。	✓地域協議会は、意思決定・運営に係る規約、事業計画、予算計画、役員（監事を含む。）を有するなど、独立した運営ができるものであること。 ✓地域協議会は、協議会の運営、資金管理、報告書作成等を担う事務局を有すること。 ✓今年度の普及モデルの開発を含む事業計画案、予算計画案を提出すること。 ✓当該普及モデルに関して他の補助金等を受けていないこと。 ✓市民団体、企業、行政、大学等の参加など「新たな公共」を担うに足る関係者の参画、協力が得られる組織であること。	

自然エネルギー活用事業化の支援及び CO2 削減啓発の支援事業の事業計画—(案)—

(1) 支援事業の目的

本モデル事業は、長野県上小地域の太陽光、小水力、バイオマスなどの豊かな自然エネルギーを活用した地域の人達による地産地消を目指す事業化を支援することを目指している。

そのために地域の課題は地域の住民が主体となり、任意団体、NPO、企業、大学、行政と連携して、課題解決するという従来発想と異なる「新しい公共」を実践することで、地域の人達が自然エネルギーや省エネの必要性や可能性について自ら何すべきか考えるきっかけをつくり、新しい文化・教育・普及啓発の意識改革を目指す。

これらの活動を通して温室効果ガスの削減に加え、持続可能な地域づくりやライフスタイルモデル事業をつくることを目的とする。

ミッション及びビジョンを明確にした。

【ミッション (使命)】

- ①地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及を図る。
- ②自然エネルギーを活用した地産地消、CO2 削減の啓発活動で持続可能な地域づくりを目指す。

【ビジョン (構想)】

- ①上小地域の自然エネルギーポテンシャルの把握と活用のビジョン作成、活用事業の支援を行う。
- ②CO2 削減を目指し、自然エネルギー活用、省エネ活動について意識改革の啓発を行う。

(2) 事業の概要

上田市の駅前図書館である上田情報ライブラリー（上田駅前「パレオ」4階）と連携し、「ここへ来れば自然エネルギーのことがわかる」という情報提供及び情報発信の「エネルギー・カフェ」と呼ぶ拠点を設けた。

「エネルギー・カフェ」は、地域の人達が気楽に立ち寄り、自然エネルギーとは何か、家庭でできる省エネは何か、職場での省エネはどのようにすればよいかなどを知ることができる。また、自然エネルギーの事業化に興味を持ち事業化を目指したい人達の自然エネルギーに関する情報収集や情報交換できる場となる拠点をイメージしている。

1) 地域への自然エネルギー啓発活動と意識改革

①情報提供常設コーナー

- ・自然エネルギー上小ネット、上小地域の自然エネルギーの企業や団体の活動事例、自然エネルギー信州ネット（県レベル）、他地域協議会情報、上田市の環境政策、長野県の環境政策、自然エネルギーのイベント情報等のパンフの掲示。
- ・情報ライブラリーでのインターネット検索、自然エネルギー関係の書籍の活用。

②毎月の情報交流会

- ・ワークショップ手法を活用し、レクチャーとワークで参加者同士が自ら考え、自ら何をすべきか知識を認識や知恵に変える交流会の実施。
- ・自然エネルギー活用術や実践の発表、会員からの提案事項を基に、会員自らが講師となり参加者と共の自然エネルギーへの取組方や省エネの意識改革を進める。

③年1回の学習会

- ・地域の子供たちも巻き込み、自然エネルギーの活用による体験学習や施設見学などを行う。

④自然エネルギーの個別無料相談

情報ライブラリーの個別経営相談と連携し自然エネルギー・省エネの個別相談を行う。

⑤出前講座

自然エネルギー活用を目指すプロジェクト、家庭向け環境家計簿と省エネ、小規模企業向け環境経営と省エネの出前講座の実施。

2) 人材育成とモデル事業の研究

①専門家による人材育成

- ・プロジェクト管理・運用できる人材の育成

ブレイクスルー思考、ファシリテーション、事業計画のマネジメント研修（公開講座）

- ・出前講座できる人材の育成

自然エネルギー専門知識の研修、環境家計簿と省エネ研修、環境経営と省エネ研修

- ・イベント企画計画できる人材の育成

プロジェクトを管理・運営できる人材育成。

②自然エネルギーモデル事業支援

- ・地域の自然エネルギーポテンシャル調査

- ・自然エネルギー活用の部会（事業化を目指す研究会）の設立を支援。

- ・情報提供、人材紹介、関連地域団体との連携支援

- ・プロジェクト設立、運営の支援

3) 事業のイメージ図

図1：自然エネルギー上小ネットの経過（「新しい公共」を目指す）

図2：自然エネルギー上小ネットの事業関連図

図3：エネルギー・カフェのイメージ図

（3）運営組織体制（図1参照）

- ・代表： 末広繁和

- ・企画計画：栗田 力、川田富夫、柴崎茂利、荻原静夫

（4）予算計画—(案)—

項目	金額	備考
支援希望額		
・ 情報展示物台	60,000	常設の展示物揭示台
・ 印刷費	21,000	準備会、総会資料印刷費
・ 通信費	2,000	連絡等
・ 事務消耗品	10,000	ワークショップ等消耗品
支援希望額合計	93,000	
自己資本		
・ その他	5,000	寄付金
自己資本合計	5,000	

自然エネルギー信州ネットと連携する地域協議会の登録シート

別紙、『地域協議会の登録の趣旨』に賛同し、自然エネルギー信州ネットとの連携を希望します。

自然エネルギー信州ネットと連携する地域協議会の登録 記載シート

提出日 平成 24 年 2 月 4 日

項目	記入事項	情報公開
組織の名称	自然エネルギー上小ネット （ネットワーク型協議会）	公開
代表者氏名	末広繁和	公開
設立年月日	平成 23 年 2 月 4 日	公開
	〒386-0043	公開
住 所	上田市下塩尻 405-9	公開
電話番号	090-1533-2072	公開
f a x	0268-28-4525	公開
メール	ssyslab@gmail.com	公開
ホームページ		公開
担当者氏名	末広繁和	非公開
電話	0268-24-6253	非公開
f a x	0268-28-4525	非公開
メール	ssyslab@gmail.com	非公開
携帯電話	090-1533-2072	非公開
組織の目的	①地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及。 ②自然エネルギーを活用した地産地消、CO2 削減活動の持続可能な地域づくりを目指す。	公開
活動内容	①自然エネルギー知識を知恵に変える意識改革を目指す交流。 ②自然エネルギー事業化を支援するファシリテーター育成。	公開
情報提供	規約、会員名簿、事業計画書、収支予算書、事業報告書、収支決算報告書、議事録などの資料がありましたら、提供ください。ホームページでの公開・非公開をお知らせください。	
チェックリスト ※提出時に自己チェックしてください。	✓複数以上の主体により構成される組織であること。 ✓長野県内において自然エネルギーの普及を行うことを目的とする組織であること。 ✓当組織の代表が自然エネルギー信州ネットの正会員であること。 ✓当組織が、自然エネルギー信州ネットとの連携により、自然エネルギー普及に係る地域における推進組織としての役割を担うことを目指しているものであること。	

※登録された地域協議会は、自然エネルギー信州ネットのホームページにより公開いたします。

※地域協議会の設立の際に、登録の承認、登録内容の承認、公開に関する承認をお願いします。

※地域協議会は、新たに設立する団体、既に設立し活動している団体をどちらでもかまいません。

提出先 自然エネルギー信州ネット事務局

FAX 026-254-6155 メール: info@shin-ene.net

図1

自然エネルギー上小ネットの経過（「新しい公共」を目指す）

（自然エネルギー学習会、普及検討会、設立準備会）



【ミッション】

- ・地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及
- ・自然エネルギーを活用した地産地消、CO2 削減の啓発活動で持続可能な地域づくりを目指す。

【ビジョン】

- ・上小地域の自然エネルギーポテンシャルの把握と活用ビジョン作成、活用事業の支援を行う。
- ・CO2 削減を目指し、自然エネルギー活用、省エネ活動について意識改革の啓発を行う。

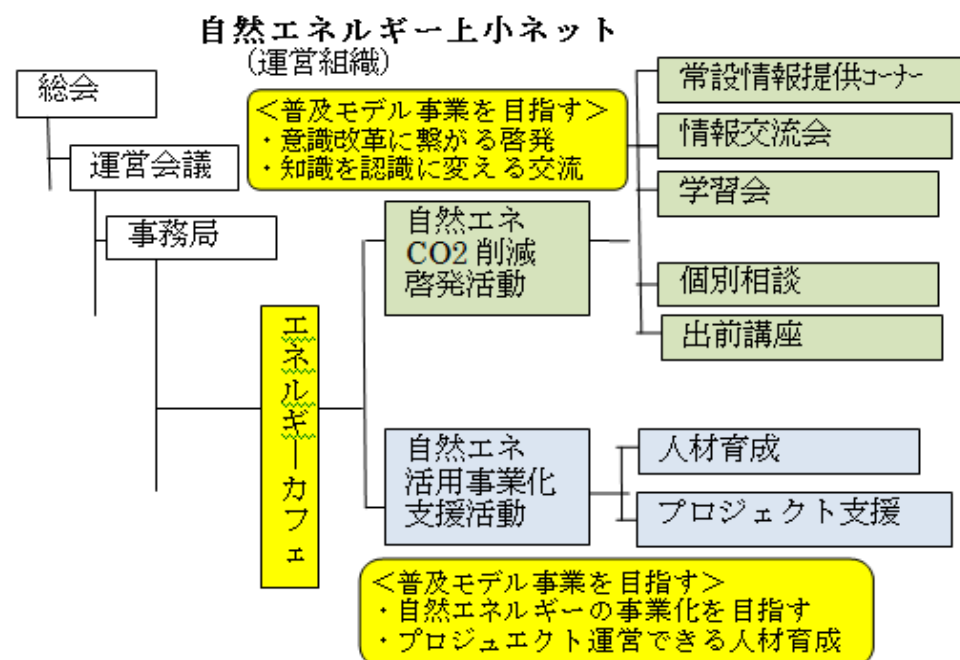


図2

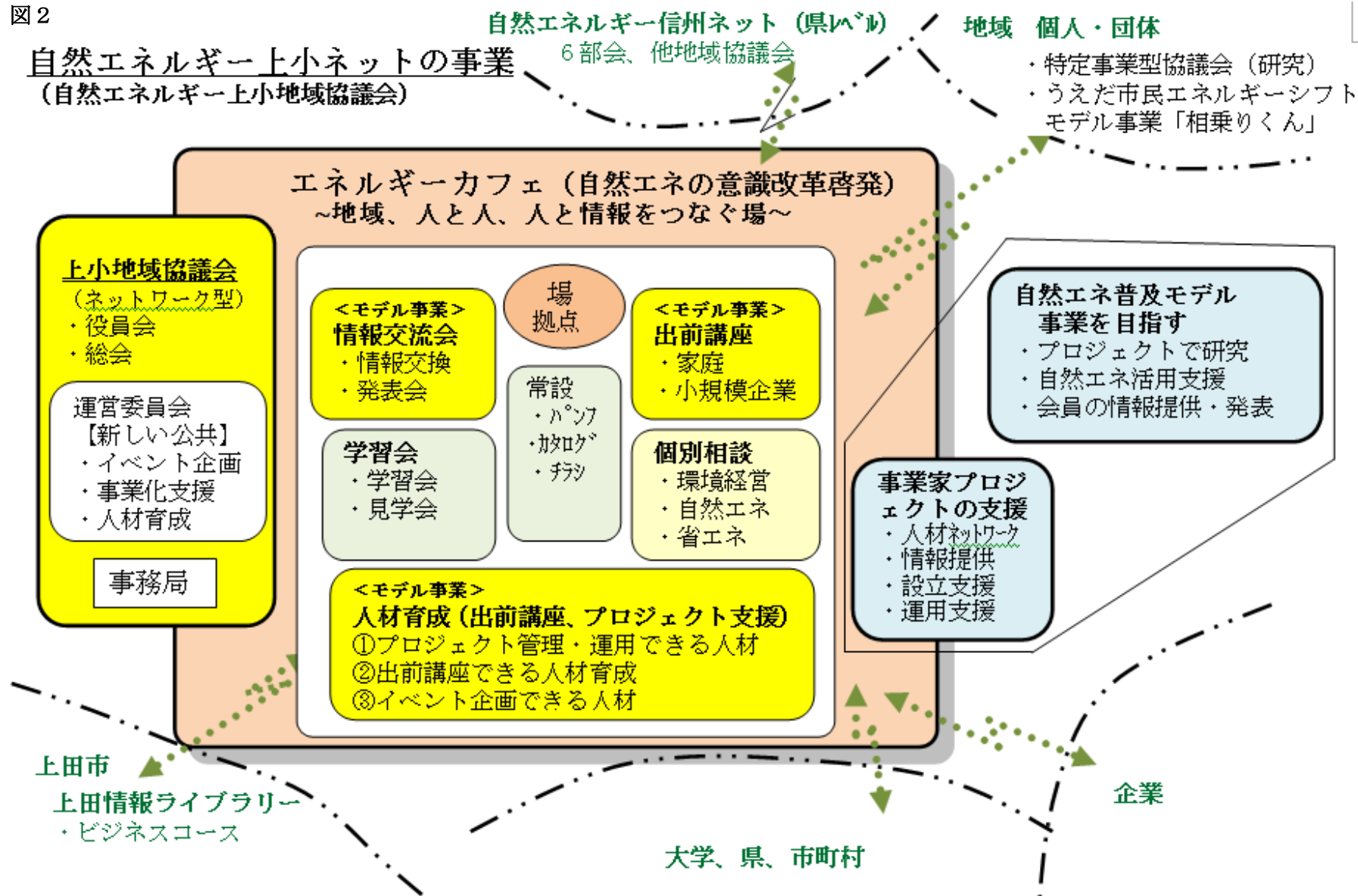


図3

エネルギーカフェのイメージ

(自然エネルギー上小ネット運用)

共働作業

- ・大学
- ・行政
- ・企業
- ・団体
- ・個人

NPO

自然エネルギー
信州ネット
ポータルサイト

インターネット検索

情報交流会
・知識を知恵
(ワークショップ)

エネルギーカフェ
自然エネルギー・意識改革の場
(上田駅前；上田情報ライブラリー)

自然エネルギー啓発活動
・地域住民へ啓発
・自然エネ事業者、起業家へ啓発

自然エネ啓発
CO2削減

出前講座
個別相談

部会の設立支援
(プロジェクト)

市民サロン

学習会・見学会

人材育成
・プロジェクト支援
・出前講座支援

